

=お知らせ=

湯郷渡・下母畑・上母畑の各地域サロンは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、4月度のサロンは全て中止になりました。

4月度の主な行事・会議開催紹介



4/7 (火) 区長委嘱状交付式



4/9 (木) 地域づくり部会



4/11 (土) 安全安心部会



4/16 (木) さくらの会肥培作業



4/16 (木) まちづくり4役会



4/19 (日) 長寿会定期総会



4/17 (金) 企画推進委員会

4月度教室等関係は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、全て休止・中止になりました。

- ・白菊学級
- ・書道教室
- ・ハーモニカ教室
- ・民謡教室

～～お知らせ～～
4/18開催の自治協議会理事会は、書面採決に変更致しましたので自治協議会総会も開催致しません。ご了承ください。

※5月の行事、イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染防止為、全て休止・中止になりました。

※4/21現在、中止が決定している行事・イベントは、次の通りです。

- ・6/7 (日) 母畑地区スポーツ大会
- ・6月下旬 ゲンジポタル鑑賞会
- ・7/26 (日) ねむの木まつり

※8/15母衣旗盆踊りは、6月時点の新型コロナウイルス感染症の状況で判断いたします。

編集後記 新型コロナウイルス感染が全国で一万人を超えています。福島県でも感染者が60名を超えました。母畑地区の皆さん！！ 不要不急の外出を自粛して新型コロナウイルスに感染しないように注意をしましょう。

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字 (279) 小6 添田 悠月 さん

教育目標

「輝け！

母衣旗」

令和2年 5 月

第562号

発行日

令和2年5月1日

発行所

母畑自治センター

責任者

センター長 瀬谷 長一

令和2年度母畑地区4区長 町長より委嘱状授与！！

4月7日(火) 15時から庁舎3F議場にて石川町39行政区長の委嘱状交付式が行われた。母畑地区からは、母畑第一区長 白髭納男、上母畑区長 木戸勘一、湯郷渡区長 角田保寿、北山区長 添田勤の4区長が行政区長委嘱状交付式に出席した。

令和2年度の1年間お世話になります。宜しくお願い致します。

各区の区長、副区長、組長紹介



白髭区長

- *母畑第一区 区長：白髭 納男 *副区長：添田 博行 ・62世帯
- *小田口組長 中田 剛 13世帯 *湯ノ町組長 生田目茂夫 9世帯
- *樋田組長 菅野 欣吾 10世帯 *樋ノ口組長 渡辺 徹也 12世帯
- *長石田組長 渡辺 久和 9世帯 *湯 高組長 関根 淳友 9世帯



木戸区長

- *上母畑区 区長：木戸 勘一 *副区長：関根 正夫 ・92世帯
- *前牛沼組長 遠野 忠 10世帯 *牛 沼組長 大川内孝男 12世帯
- *大 作組長 塩澤 一夫 7世帯 *東 恵組長 木戸 弥吉 8世帯
- *恵瀬郷組長 福田 正三 10世帯 *七 堀組長 木戸 功 9世帯
- *堀 平組長 関根 正己 11世帯 *天升作組長 関根 道夫 14世帯
- *手 竹組長 関根 正人 11世帯



角田区長

- *湯郷渡区 区長：角田 保寿 *副区長：添田 保一 ・75世帯
- *前ノ内組長 瀬谷 浩子 3世帯 *湯 坂組長 熊田 誠 12世帯
- *前 組組長 塩田 隆義 18世帯 *米子平中組長 永沼 源紀 9世帯
- *米子平下組長 塩田 晴久 10世帯 *米子平上組長 味戸 勇夫 7世帯
- *木戸ノ内組長 永沼 太郎 7世帯 *銭 神組長 鈴木 文晴 9世帯



添田区長

- *北 山区 区長：添田 勤 *副区長：大串 政一 ・65世帯
- *菅 関組長 塩田 和良 17世帯 *高 野組長 桑沢 重寿 8世帯
- *羽貫田組長 鈴木 英一 16世帯 *村 松組長 芳賀 誠 5世帯
- *入 山組長 桑沢 房次 7世帯 *荘 柏組長 大串 政一 12世帯



今月の仲間・人(二四六)
母畑地区の皆様へ
母畑地区区長会(湯郷渡区長)
会長 角田保寿

楽しみにしていました行事を行うことができま
る非常に残念です。私もこのような状況にな
るとは思いませんでした。
母畑地区は、他地区より行事が多いです、
このように出来ているのは、自治センターはじ
め諸先輩方の御努力であります。
いつも再開出来るかわかりませんが出来るよ
うになりしましたなら、皆様方と一緒に、残りの
行事に精一杯頑張りますので皆様も楽しみに
待っていて下さい。
今は、外出は出来るだけ控えて下さい。そ

“母畑五桜めぐり” 残念ながら中止に！

4月11日（土）に母畑五桜めぐりを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止になりましたので写真だけでも楽しんで下さい。



関場の桜



高蔵内の桜



樋田の桜



居矢塚の桜



浄光寺の桜



庫埜前の桜



幸右衛門の桜



平安住居広場の桜

ありがたいので御札に五千円差し上げました。後にこの馬頭観音が移すことになると思ってもいせんでしたが、不思議な縁で結ばれていたことは後でわかったのです。昭和六十一年に町から今の道路拡張工事の話が始まりそして、道を広げる事になり、馬頭観音碑は当時八十センチメートル位に土を袴状に盛った上に立ってありました。それを移動する事になり、その場所から二十メートル東へ移すので、良い日を選んで昭和六十二年十二月十八日（晴れ、先勝）に工事関係者（当時の白坂建設の社長）や宮司、従業員の協力とそれに私と父親が立会いをして、玉ぐし料を納めて石（碑）を移動することになりました。そういう事で現在の場所になっていきますが、建ててあった事は今から六十二〜三年前に六十〜六十五歳の人の話では、大じいさんは、石は昔から建てたと言います。聞いていたので、そうすると今から二百四十〜五十年前以前、一七六二年（宝暦十二年）頃には馬頭観音の石が建てた事になります。私の先祖（千八〇八年文化五年）も馬頭観音碑と、女桜お千の話をしていた事を聞かされていたと言います。と聞かされていきました。それに銭神部遊の昔の人達にも聞いたことがあります。私の母親の親（一八九〇年明治一四年）も馬頭観音碑や女桜お千の事は、かなり昔のからだだったと、話をしていた事を聞かされていきました。考えてみれば母畑温泉もかなり古い歴史があるので、その通る近道なので納得がいきます。それに私の前の畑からは、かめの破片が私の小さい頃に出て、その模様は大昔のものでその頃に人が住んでいたみたいですが、詳しいことは、謎です。その後山狩りに来た人とか山の材木を搬出した時とかに碑にさわって、倒れたりしていたので平成十一年一月十五日に貞和尚に来て頂いた時、拜んでもらっていたので少し高い処になりました。明治時代の其の頃この入山地方の部落に住居は、少なく此処にも家などありませんでした。昔は山の頂上や山腹を歩いて通っていたことがわかります。この私の家（大串絹一宅）も戦後に開墾で此処に住むようになり、多くの人が住み着きました。其の頃の大人が子供だった頃、女の人は学校に行った人は少なく、大きな家の子守に出されたと言っていました。其の頃はそのような時代だったので。戦後に人家が増え、杉も戦後植えたのです。

この三叉路の処は、南と北が開いていて見晴らしの良いところですが、南側と北側が急に下がって幅の狭い場所です。人が跨る事が出来る位と、言う事で馬背との言われもあって、まぜくら（馬背鞍）がまぜくらと、そして、まぜくらとなり、ここは昔からこの場所が、まぜくらと言われるようになった。と言う説が聞いたことがあります。それは、（女）まぜくら（桜）安狐で大山桜（種まき桜）の咲く頃旧三月下旬（四月上旬）頃が主に出た事が

多いと言う話でした。此処はとっても寂しい処であって、夕方月夜になる頃通ると若い女の人赤色の混ざった着物姿で子供をおぶって、ねんねこを着てからかさをさして子守唄を静かに歌いながら馬頭観音碑をぐるぐるまわっていたという事です。それでこの馬頭観音碑の処をめぐらお千（おせん）の地と言う話は多くの人達から聞かされていきました。それは、お千と名づけられた女狐で人を騙す訳でもなくて、この辺りがあまりにも山の中でとても寂しい処なので、通った人を和ませるため、人はそれを怖がる訳でもありませんでしたし、狐に何かをされたと言った話も聞いていないのです。それで、まぜくら（女桜）お千狐と多くの人達から言い伝えられています。私も小さい頃その話は、結構いろんな人達から聞かされた事を覚えています。春早く咲く桜みたくに和ませてくれる女の狐がいるということ（女）そして桜（まぜくら）の狐は千日（昔からの意味）通っても居るとかという事で「お千」と呼ばれていたようです。それで女桜（まぜくら）お千の伝説が続いていきましたが、最近年代が代わり女桜お千の狐話をする人はいなくて、忘れられていくようですが、女桜お千と馬頭観音碑が一緒に古くから言い伝えがあったことを後世に伝えたいと思います。

平成二十四年七月二十四日 北山区長在職中 今迄の調べ纏め
大串 絹一

左の写真は、馬頭観音碑です。



※次号からは、母畑地区公民館時代に『母畑実年大学講座』で紹介されていた「母畑ふるさとマップ」の母畑地内の神社仏閣を紹介いたします。

